



イラク復興支援群活動報告

17.4.8

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 日 (4月8日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療：MND (SE) 医務部長来訪対応
 - 別紙第1「MND (SE) 医務部長来訪対応」
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - 9カ所 (ルメイサ、サマーワ×5、マジット、スウェイル、ナジミ) での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 3カ所 (サマーワ×3) での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - 3カ所 (サマーワ、フサイヤ、ワルカ) での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 3カ所 (サマーワ×2、ワルカ) での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 8カ所 (サマーワ×7、ルメイサ) での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 1カ所 (サマーワ) での役務作業
 - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
 - ・ 寄付関連物資の輸送調整 (宿营地)

全 日 (4月8日)

○ 宿营地関連施設の整備

- ・ なし
- その他
 - ・ MND (SE) 医務部長 [REDACTED] 以下 [REDACTED] 宿营地来訪 (群長表敬及び群衛生隊研修)
 - ・ 対外発信関連：FUJ14月号原稿調整 (宿营地)
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ23両に対し約224t (約49,000人分) が配水された。
4月8日まで計約9,294t (約2,065,000人分) 配水 (4.5リットル/人・日換算)
 - ・ 4月8日現在の雇用人員
医療 (PHC等) 99名、学校修復178名、道路補修9名、青年・スポーツ関連165名、
清掃事業関連0名、給水関連44名、通訳58名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、
し尿処理3名、清掃18名、土壌解体作業20名、エンジニア2名、タクシー20名、床屋2名、
弁護士1名、アドバイザー1名、電気工等3名、T-レックス操作等2名

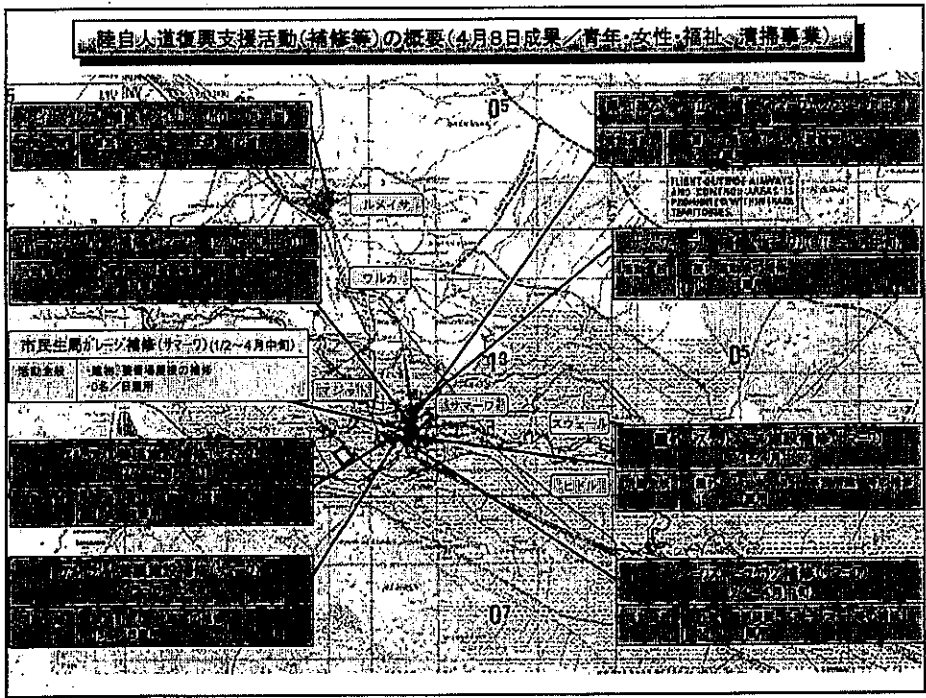
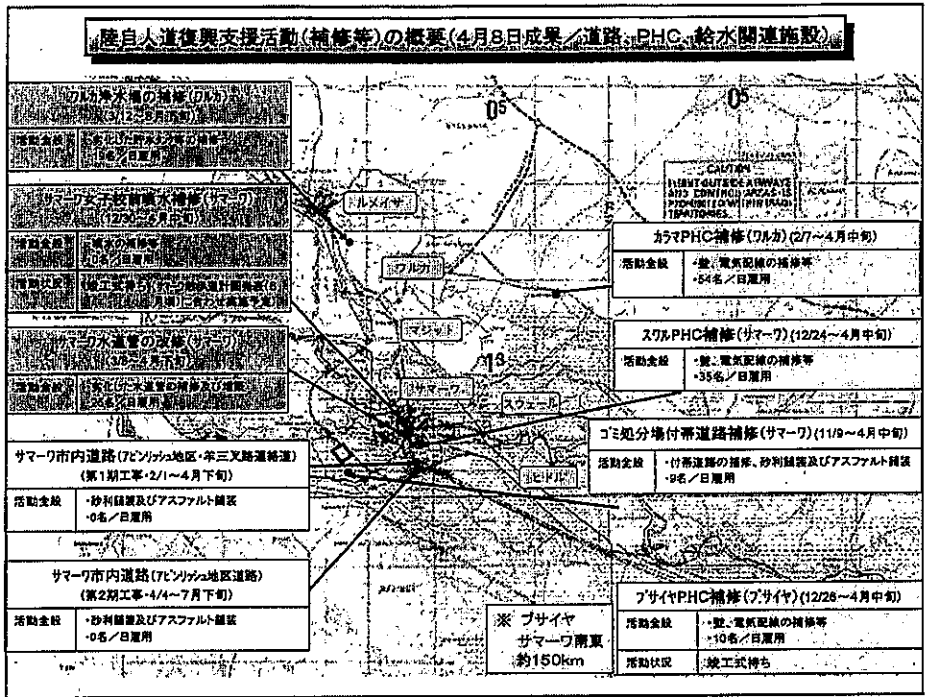
計669名

全 體 (4月8日)

- ◎ クウェート分遣班
 - ・ 市場調査
 - ・ 現地偵察 (消耗品等)
 - ・ バスラ業務調整
- ◎ バクダッドLO
 - ・ 恒常業務
- ◎ バスラLO
 - ・ 恒常業務
- ◎ スミッティLO
 - ・ 恒常業務
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・ 恒常業務

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月8日成果/学校)

<p>アル・ナフラス小学校(サマワ) (117~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎2階建て、電気配線の補修等 35名/日雇用</p>	<p>7ル・メイ(サ女子)中学校(メイサ) (10/27~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 6名/日雇用</p> <p>活動状況: 竣工式待ち</p>
<p>アル・ハワライン小学校(サマワ) (22~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 30名/日雇用</p>	<p>アル・ジョラニ小学校(マフット) (1/8~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 40名/日雇用</p>
<p>アル・ネールド小学校(サマワ) (24~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 40名/日雇用</p>	<p>ハブ・アブ・アム・ガール小学校(スウエイ) (1/8~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 30名/日雇用</p>
<p>アル・サハ女子中学校(サマワ) (4/2~6月下旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 37名/日雇用</p>	<p>サマワ男子中学校(サマワ) (1/130~4月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 0名/日雇用</p> <p>活動状況: 竣工式待ち</p>
<p>アル・ミザク中学校(サマワ) (4/2~9月中旬)</p> <p>活動人数: 校舎1階、電気配線の補修等 30名/日雇用</p>	



上段:増人員数 下段:減人員数		人員現況																				(備 考) 数員の变化及び 増減人員の内訳
区 分	所属人員	サマーワ		クウェート		バクダット		バスラ		キャンプ・スミヤ		ドバイ		国 外		国 内						
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出 国 人 員	増減人員	所在人員	帰国(復職)人員	増減人員	所在人員			
5次支援科	481	481	0	481	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	481	0	481	0	0			
5次業務派遣隊	10	10	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0	10	0	0				
業務支援隊	109	75	0	69	25	0	19	4	0	4	2	6	1	0	109	0	109	0				
合 計	600	566	0	560	29	0	19	4	0	4	2	7	1	0	600	0	600	0				

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用者数:4名、FOMA使用者数:17名(1通間のTV電話合計:4名、FOMA合計:17名)

		装 備 の 現 況 (車 両 等)																			
		車 両																			
		小 型	中 型	救 急	軽 甲	高 機	W A P C	業 4	マイ クロ	施 設	水 タンク車	燃料 タンク	冷 凍車	セ ミ ト レ	大 型	特 大	浄 水 セ ット	重 レ ッ カ	溶 接 車	修 理 車	計
IQ	サマーワ	13	10	2	44	20	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	187	
	シャイバ																				
	バスラ				1	1															2
	タリル																				
	バクダット																				
	計	13	10	2	45	21	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	189	
KW	キャンプ VA	1			1			2	1					6							11
	キャンプ アリフジャン																				
	計	1			1			2	1					6							11
	総 計	14	10	2	46	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	1	1	2	200	

装備の現況（武器）

		武器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリアジャン							
	計							
総計								

装備品等の可動・不可動の状況①

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
車両	203	201	2	0	燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整バルブ摩耗 WAPC×1 底板亀裂	整備待ち 処置検討中
中型ドーザ	1	0	1	0	油漏れ(トルコン油圧ホース不良)	部品待ち
酷暑用冷凍冷蔵車	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	1	0	No2:画像映らず	故障探求中
エアコン	657	634	0	23		
発電発電機(6kw)	99	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジンレール不良×3	部品待×7 整備待×6 部品待×3
発電発電機(25kw)	70	63	5	2	オイルシール不良×5	部品待×5
発電発電機(60kw)	59	34	0	25		
発電発電機(180kw)	17	17	0	0		
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中

装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	總 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
浄水セット	官品	4	4	0	0	
	民生	2	2	0	0	
遠距離監視システム	昼用					
	夜用					
近距離監視システム						
近距離暗視装置(V7)						
微光暗視装置(V3)						
空中監視装置						

事案等の発生状況(昨日)

発生状況の推移

発生件数64件
(昨日62件)

凡 例

- ★ : 対CF
- ☆ : 対イラク治安機関
- ☆ : 対民間人
- ☆ : 対インフラ

☆ 全般としてイラク全土の不安定な情勢変化なし。

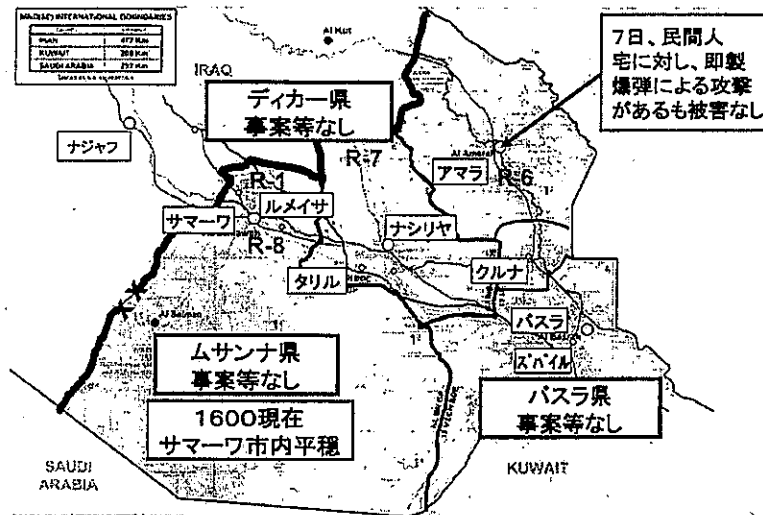
☆ 細部発生状況

- 時 期
基地 等：昼夜間関係なし。
移動部隊等：昼夜間関係なし。
- 手 段
基地 等：迫撃砲とロケット弾が主体
移動部隊等：即製爆弾、RPG及び小火器が主体
- 地域別状況：バグダッド地域を中心とする中部
一帯及び北部で活動活発
中南部地域：比較的安定、但し油断できず。
南東部地域：比較的安定、但し油断できず。
バスラ周辺でのISFに対する攻撃増

加傾向

(7.0700~8.0700現在)

細部事案等の発生状況（7日1600～8日1600）



金曜礼拝の状況

【アル・グレイブモスク：サマーワ市内(サドル派)】

- 未実施
(サドル派事務所前に集結し、バス8台及び車両多数で1515頃、バグダッドへ向かった模様：約2～300名)

【アル・サマーワモスク：サマーワ市内(サドル派穏健派)】

- 説法者：アワディ師(約150名)
- 内容：「ムハンマド(命日)の人物紹介及び彼が歩んだ偉大な生涯について」

【アルメディーナモスク：ルメイサ(サドル派)】

- 説法者：アドナン師(約1,000名)
- 内容：9日のバグダッドで開催されるデモの意義について
(反米、フセインをはやく処刑すべき等)

【マムラハモスク：サマーワ郊外(サドル派)】

- 説法者：ホセイン師(60名)
- 内容：「英国の支援は必要ない。日本はPHCを補修しただけでその他は何も支援していない」「新政府はイラクの人々を支援してほしい」

【評価】

- サドル派の大多数は、バグダッドへ向かった模様であり、9日のサマーワでのデモは、実施されても小規模・平和的になる可能性
- マムラハでは時折日本の支援に対する発言があるが危険性なし

6日共同「サマワの議員宅に発砲」について

【記事の概要(6日サマワ共同)】

- サマワの北方で6日早朝、ムサン州評議会の「シェフ・アブドラ・シュヌン」議員宅に何者かが発砲、窓ガラス割れるもけが人なし
- 評議会では5日、議長の任期をめぐる議員の間で激しい口論が交わされた。発砲と何らかの関係があるとの見方が強い

【8日現在確認されている事項】

- 発砲事案の発生は事実(英軍情報)、●同議員は県ダアワ党の代表
- 評議会議長の任期をめぐる、評議会内でいざこざ(5日の時点では議長を交代制にする動議が出され成立→議長が辞表をたたきつけ退席)という事態も発生
⇒7日の時点で、議長に辞意はなく、正常に戻りつつある(議長側近・英軍情報)
⇒議長はバグダッドで開催される各県議長会議に出席

【評価】

- 今回の事案の犯人像として考えられるのは以下のとおり(議会がらみとの前提)
 - 当議員が同情と共感を得るために、ムハンマド議長側がやったと見せかけ、議長を陥れるための当議員側の画策
 - ムハンマド議長側が何らかの原因で当議員に対し恨みを抱いたことによるもの
- 現在県政においては、ハッサーニ知事(SCIRI)の勢力が拡大しているとの情報(議長側だった議員の抱きこみ等)もあり、今後、知事側と議長側のパワーバランスが崩れる可能性は否定できない(復興支援委員会の実権をどちらが掌握するかによっては陸自の活動にも少なからず影響を与えるものと推測⇒推移注目)

イラク全土の全般情勢評価(4.8)

(4月7日報告をもって修正)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続(北部(モスル)での攻撃増加) ●国民議会開催に連携した施設・多国籍軍/イラク治安部隊への攻撃急増の傾向は特に見られず(総件数は減少傾向) 	3/7追加 3/25追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・暫定政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●9日の集会・デモを狙ったテロの可能性 	4/7追加
バース党 残党	<ul style="list-style-type: none"> ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける ●9日の集会・デモを狙ったテロの可能性 	4/7追加
国際 テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 ●9日の集会・デモを狙ったテロの可能性 	4/7追加
サドル派	民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵の再構築実施 9日にバグダッド、ナジャフ等で大規模集会予定	4/6追加
トレンド (特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●不発弾処理部隊を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件) →最初のIEDの下に2番目が隠されており処理時に爆発 ●偽物IEDが増加傾向(不発弾処理部隊の対処手順を観察か) 	4/5追加

イラク南東部の全般情勢評価 (4. 8)

(4月7日報告をもって修正)

区 分	内 容	備 考
全 般	比較的安定→多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト バース党残党	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バース党残党による多国籍軍(ヘリ含む)への攻撃の可能性 ●9日の集会・デモを狙ったテロの可能性 	4/7追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱 ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 →最近の攻撃はサドル派民兵関与の可能性あり ●民兵組織の再構築→将来的にはイラク治安部隊参加を企図 ●9日にバスラ等でサドル派集会(バース党崩壊記念) 	3/12追加 4/5追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し ・カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ・ASRサークル路面状況悪化(タンバは4/20開通予定) 	
タリル空港	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂に対する自爆テロ情報(業者を装い)あり ・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒 	3/14追加

ムサンナ県の全般情勢評価 (4. 8)

(4月5日以降変化なし)

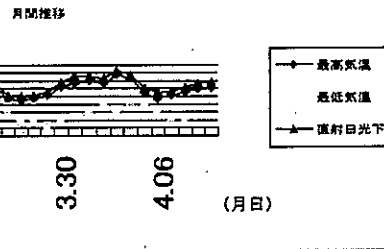
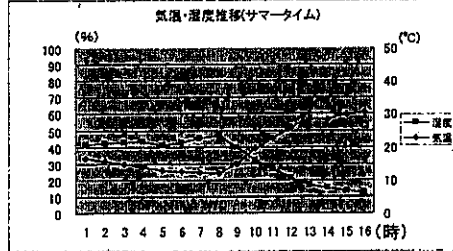
区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的安定、しかしながら油断は出来ず ・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か →明確な敵意等の表示は市内で見られず 	3/27追加 3/13追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談) ・サドル派民兵については特異動向なし(警察情報) ・9日サマーワ・ルメイサでもサドル派集会・デモ予定 	3/5追加 4/6追加
部族関連	<ul style="list-style-type: none"> 土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性 	
選挙関連	<ul style="list-style-type: none"> アルバイーン終了につき、各種デモ(反知事・雇用・サドル派等)が突発的に生起する可能性→市内活動は注意 	4/3追加

現地の気象情報

報告内容

サマータイム

日の出 : 0639
 日の入り: 1923
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高30.4°C、最低11.9°C
 : 最高34.0°C(直射日光下)
 湿 度 : 32.7%
 風 速 : NW 2~4 m/s



4月9日(土)の活動予定

サマーワ本隊			
群長(J1)	対外調整(J21)	対外調整(J22)	施設支援(J71)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0825: 宿営地発 0855-0945: サマーワ男子中学 校竣工式 1015: 宿営地着	0750: 宿営地発 0825-1000: サマーワ男子中学 校竣工式事前準備 1030: 宿営地着	0845: 宿営地発 0915-1000: フルカースウェイル 道橋梁架設地点1 1030-1045: フルカースウェイル 道橋梁架設地点2 1115: 宿営地着	0900: 宿営地発 0930-1100: オリンピックスタジ ム完成点検支援 1130: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
人員22名 車両5両 (LAV×5)	人員15名 車両3両 (LAV×3)	人員18名 車両4両 (LAV×4)	人員23名 車両4両 (LAV×3) (HMY×1)

4月9日(土)の活動予定

サマーワ本隊			
施設支援(J72)	J1ルートチェック(J101)	ルートチャック及び偵察(J102)	KW分遣班の行動(JKW)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0835: 宿営地発 0905-1025: スワルPHC施工状況確認 1055: 宿営地着			0900: バスラ発 1030: ナビスタ 1200: CV着
1815-1845: イブニング・ミーティング 1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)			
人員15名 車両3両 (LAV×3)			人員2名 車両1両 (LAV×1) バスラ基地～ナビスタ間 英軍コンボイ警護下で移動

4月9日(土)の活動予定

サマーワ本隊			
QRJ(J20)	役務警備員配置(S6)	救急車搭乗員教育(S9)	警衛(S11)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
	0530: 宿営地～運河警戒位置～宿営地 1130: 宿営地～運河警戒位置～宿営地 1930: 宿営地～運河警戒位置～宿営地	1000-1200	
1815-1845: イブニング・ミーティング 1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)			
	警備中隊計画	衛生隊計画	

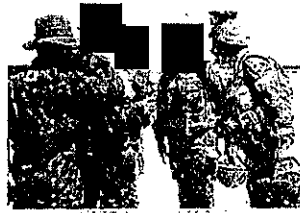
4月9日(土)の活動予定

サマーワ本隊			
浄水活動(S12)	宿営地内工事・作業(S13)	群主力の行動(S15)	空中監視活動(S16)
0810-0830:モーニング・ミーティング			
0730-1200:大量送水システム 整備・運転	0800-1600:医務室耐弾補修 作業 0800-1600:耐弾性強化施設 構築作業 (出島プレス地区) 0800-1600:耐弾CP橋の整備 0800-1600:浴場排水施設の 構築 0800-1600:コンテナ後送作業	0800-1600:宿営地内業務	0730-0730
1615-1645:イブニング・ミーティング 1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(群長)			
給水隊計画	施設隊等計画	群S-3計画	群S-2計画

4月9日(土)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・ 倉庫整理 ・ 現地調達(消耗品 等) ・ 業者調整 ・ バスラ業務調整・移 動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務

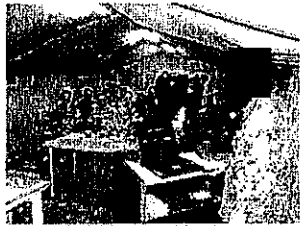
MND(SE)医務部長来訪(1/2)



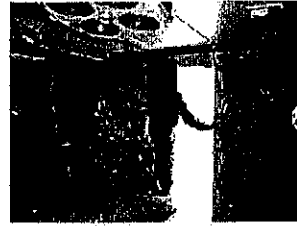
出迎えの様子



群長への表敬



衛生隊長によるBF



医務室を研修

MND(SE)医務部長来訪(2/2)



医務室を研修



救急車の研修



熱心な質疑応答



医務室前で記念撮影

モニタリング（8:08:10）

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:
-特になし。

モニタリング（8:16:15）

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項

一定期異動により、陸幕等の担当者が交代した部署もあると思うが、各自自分の業務について、もう一度根拠にあたるなどして、洗い直すようにせよ。申し受けた内容だけで業務を実施するのではなく、「何故～なのか」ということについて、この機会にもう一度確認してみることが大切である。また、業務を進める上での前提が変化した時には、一度白紙に戻してその業務を構築し直す必要がある。それまでの案に固執することなく、前提の変化に柔軟に対応するくせをつけることが重要である。

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威 [REDACTED] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッドは [REDACTED]、モスルは [REDACTED]。
2 特記事項	なし
3 本日の業務	(1) C2勤務 昼間 (0900-2100) 勤務: [REDACTED] 夜間 (1930-0730) 勤務: [REDACTED] (2) 情報収集及び情報資料の送付等 ア 業支援及び統幕情報要求対応 ムサンナ県以外のCIMIC情報収集継続 (3科) 統幕情報要求対応 (添付文書参照) イ C2スタッフ送付件数 15 件 (3) 群長のSNRカンファレンス参加に関する調整 ・MNF/C1両司令官及び31D長表敬調整 ・ヘリ及び宿泊に関する調整・確認
4 明日の予定	情報収集及び業務調整
5 その他 (備考)	SNRにおけるJVB (Joint Visitor Bureau) 宿泊は群長のみ。同行者については連絡班コンテナに宿泊の予定

バスラLO日々業務報告(4月8日1900)	
区分	内容
1 警戒態勢等	バスラ空港 ・脅威レベル： ・警戒態勢：
2 特記事項	が を

区分	内容
3 本日の業務	(1) 輸送機等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応 SSR(ISFの戦力化の状況)、豪軍展開関連、BLUE on BLUE関連、MND(SE) (3) 定例情報収集： (4) 定例会議への出席：司令部朝会議・夕会議、J2認識統一会議、J3認識統一会議 (5) 指揮官会議等調整 ア 政治顧問会議参加者等4月14日空路帰隊組のヘリ申請実施 イ 会議の概要(時程・議題等)を兼支隊3科に送付 ウ 隊長ブリーフィング資料のアラビア語翻訳についてMND(SE)司令部翻訳部と調整 (6) クウェート分遣班2名の業務支援受入(異状なし) (7) 師団長及びMNC-1副軍団長のサマーワ訪問調整 副軍団長のサマーワ訪問受入計画に基づいてMND(SE)司令部VISIT担当と調整
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席 (4) 指揮官会議等の調整 (5) 新J3部長に対するブリーフィング実施(運経班長) (6) 業務支援及び調整のためクウェート移動
5 その他(備考)	特になし

別紙

について

FRAGOの概要

特記事項(1)

特記事項(2)

連絡先コメント

クウェート分遣班業務報告

1 7 . 4 . 8

全 般	
<p>○国内情勢等:N/C ○人員・武器等異状なし ○人員報告:所属人員24名、事故人員6名(戦力回復3名、サマーワ業務支援1名、バスラ業務調整2名) 現在員18名 ○市場調査、現地調達、バスラ業務調整等実施</p>	<p>○天候:晴 ○気温:17~29℃ (直射日光下の最高気温37℃)</p>
本日の活動状況	
恒常業務	その他
<p>○市場調査(クウェート市内) ○現地調達(クウェート市内) 消耗品等</p>	<p>○バスラ業務調整 分遣班2名がLAVにより陸路移動しバスラにおいて業務調整</p>
明日の予定	
恒常業務	その他
<p>○倉庫整理(キャンプバージニア) ○現地調達(クウェート市内) 消耗品等 ○業者調整(クウェート市内) 旅行関連(戦力回復関連)業者</p>	<p>○バスラ業務調整・移動支援 ・分遣班2名がLAVによりバスラから陸路移動し帰隊 ・バスラLOのクウェートへの移動支援 ○米軍飛行部隊挨拶 来訪者(中部方面総監)輸送に関する御礼</p>
その他(教訓・要望事項等)	
<p>特になし。</p>	